

そなえるコート

防災いつもノート

防ぐ
減らす
備える
知る

いつでも“もしも”に備える 防災フェスタ

第2回

いっもしフェスタ

日時 令和7年 11月16日(日)
10:00~14:00 雨天中止 小雨決行

場所 狭山市役所 (ロータリー・駐車場)
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

災害自衛隊の捜索救助犬
防災グッズの持ち出し袋
災害時に活躍する車両が大集合!
楽しみながら学べる防災ワークショップを実施!災害時に役立つ防災グッズを多数展示!

タイムスケジュール

- 10:00~14:00 防災ワークショップ&各種展示
- 10:00~10:15 狭山消防署員による救助訓練
- 11:00~ 炊き出し(とん汁)の提供 (なくなり次第終了)
- 12:00~12:30 航空自衛隊の捜索救助犬による捜索訓練

参加無料

防災クイズラリーを実施!
クイズに答えて、参加賞をゲットしよう!
(中学生以下対象)

主催: 狭山市
協力: 狭山市公式ホームページに掲載
問合せ: 狭山市自衛隊管理
電話: 04-2968-6527
要予約: 8:30~17:15 (土・日・祝日を除く) 申込先: C1656

令和7年度コート狭山台自主防災会防災活動

防災訓練実施

訓練背景
〔仮想〕震度7の直下型地震に伴い、当マンションのインフラに甚大な被害
一部に火災発生

備えよう災害に
高めよう防災行動力

10月19日(日)

午前10時00分より

訓練場所 マンション内全棟 (主要場所は1号棟、2号棟の駐車場)	非常ベル吹鳴 午前10時丁度! 出火 非常警報	『OK』マーク 避難完了の自印を玄関ドアに貼り、1、2号棟間に設置の一時避難場所に集合	安否確認 避難状況把握 各戸の『OK』マーク確認
--	-------------------------------	--	-----------------------------

◇当日のタイムスケジュール表は 後日 お配りします◇

富士見消防署の指導による 体験訓練

『消防訓練』『心肺蘇生法』『消火器』『避難タカ』『AED』『煙体験』『車椅子』

さあみんな参加しよう!

消防器
心肺蘇生
煙

車椅子利用者を介助して指定避難所へ移動
災害時に使った避難所
車椅子

防災資機材倉庫

R8 3.8~3.15

防災週間実施

いつも型防災の取り組みを！

自主防災通信を発行（不定期）

皆様へお届けしていますので

日頃からの備えや防災を考えるデータとしてください。



災害対策の知識を高める

自主防災通信

「みんなで減災 いつも備えを」

第37号	令和8年3月
発行	コート狭山台 自主防災会
編集	情報・広報班

防災週間 3月8日～15日

次の災害に備える取り組みを！

日頃から自主防災会にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

桜の開花が待ち遠しい季節になりましたが、今年の防災週間については未だコロナ禍のリスクや3月から排水工事が始まるため、大勢の人が集まるイベントは中止し、啓蒙とPRのみ行います。自主防災通信の発行と各戸配布、ポスターの掲示などにより、日頃からの備えや防災をみんなで考える機会とします。

今年の政府調査委員会の評価では、南海トラフ（海溝型地震）M7.8～8.5程度の今後30年以内の発生率は60～90%以上となり、極めて高い確率でいつ発生してもおかしくない状況です。確実に近くその時に備え、日頃からの準備とみなさんひとりひとりの心がけが大切です。

12/10 非常ベル吹鳴聞き取り調査結果

聞こえない！聞こえづらい！、安心・安全対策は？

号棟	回答数/世帯数	聞こえない	聞こえづらい	十分聞こえた	
1号棟	30/93	6	3	21	
2号棟	29/67	3	3	23	
3号棟	25/46	12	2	11	
合計	84/206	21	8	55	
		40.80%	25%	10%	67%

12月10日坂田防災による定期点検に同行し、非常ベルの吹鳴状況を、在宅の方に無作為に聞き取りを実施。結果は上記の通りでしたが、聞こえづらいと回答した方は、ベルを設置していない階（1、2、4、5、6階）がほとんどでした。現状では全フロア設置は費用的にも難しく、ベルの音量は調整できないとのこと。対応策としては有事の際、避難する場合はできるだけ隣近所に声掛けするように今後PRしていきたい。日頃からの住民同士のコミュニケーションが大切になります。



生き延びるために注意すべきこと

地震、台風、酷暑、天災は忘れる前にやってくる！

我が国は世界で有数の「地震大国」とされており、平成7年（1995年）の阪神淡路大震災以降、平成23年（2011年）の東日本大震災、平成28年（2016年）の熊本地震、平成30年の北海道胆振東部地震、令和6年（2024年）の能登半島地震等、多くの人的・物的被害を伴った大規模地震に見舞われています。これからも、南海トラフ地震や首都直下地震等が高い確率で発生すると指摘されています。

地震だけでなく、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害等の災害も全国各地で発生しており、気候変動の影響もあって、今後ますます発生するリスクは高まっていくと考えられています。

狭山市における防災訓練では、立川断層帯での地震発生を想定して行われています。立川断層帯は飯能市から青梅市、立川市を経て府中市に至る約33キロにわたり、名栗断層、立川断層に分けられています。近い将来に全く起きないとも言えないと評価されています。

こうしたことから、地域における日頃からの防災訓練や、発災時の安否確認等の重要性が高まっています。災害はいつどこで起こるかわかりません。発生時には避難方法の判断ミスが命に関わる事態を招くこともあります。平時から「どの災害にどう備えるのか」を意識し、避難所、避難場所を確認しておくことも命を守る大切な行動につながります。

自分の命は自分で守る

自助 減災

防災対策、一人一人が出来る事から着手しよう！

自分の命はしっかりと自分で守るしかありません。日頃からきちんと対策しておくことが大切なことと思います。非常食、飲料水、生活用水や簡易トイレの備え、携帯などの十分な充電にあわせて予備バッテリー、照明器具などの準備等、出来ることから着手しては如何でしょうか。

日頃からの備え 1 (情報提供：コート狭山台 A家)

給電・充電

メガパワーステーション（電気の備蓄）

照明

ライト付きルースタンド（停電時USB給電可）





防災訓練時の各班の役割

毎年秋に行われている防災訓練は、直下型地震（震度7）でコートのマンションライフに甚大な被害を及ぼしたことを想定したもので、防災会のマニュアルに沿って指揮命令系統の確認、行動確認、居住者と連携して初期消火、避難誘導・救出・救護などを体験しながら非常時に慌てずに落ち着いて適切な行動が取れることを目的とする。それぞれの班の任務は：

■ 広報・情報班：

情報の伝達、収集（市役所、消防への通報） 居住者に避難の呼びかけ 安否情報の把握 避難場所の生活時の注意事項などの呼びかけ

■ 救出・救護班：

要援護者の救助及び救急車の手配 避難の呼びかけ、安全な避難誘導 要援護者の誘導 救護所の設置と運用 地域と連携

■ 生活安全班：

初期消火活動、出火予防 エレベーターの安全確認 建物の被害状況の確認 飲料水供給対策、トイレ対策 建物の防犯活動

■ 物資班：

必要資機材（階段避難者や簡易トイレなど）の準備と搬出
炊き出しと必要に応じた備品と食糧の配布



非常警報設備（非常ベル）

火災・避難を要する地震・ガス漏れ等の非常時に使用

生活安全班

非常設備配置図

7F	非常ベル 消火器				
6F	ホース格納箱（2か所） 消火器				
5F	非常ボタン 非常灯 消火器				
4F	ホース格納箱（2か所） 消火器				
3F	非常ベル 消火器				
2F	消火器				
1F	受信機 非常ボタン 非常灯 消火器				

非常ベルの操作方法



- ・ 各階段の1F、5Fに設置されている押ボタンを押すと3F、7F設置の非常ベルが鳴動する。
- ・ 同時にエントランスホール設置の受信機に発報された階段位置が点灯する。
- ・ 同時に管理事務所及び大京ログシステムに自動送信され、管理人不在の場合は大京から警備会社に連絡する。

☆ 現地に急行し

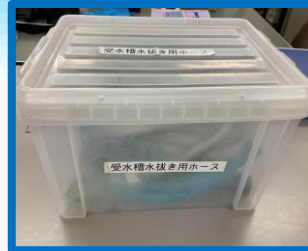
異常の有無を確認 ☆



災害時に於ける受水槽の水活用

生活安全班

1 道具の保管場所



防災倉庫内の入口手前左側の最上段

2 保管箱内の機器



元栓のハンドル



1 次蛇口のハンドル



3 受水槽 1号棟北側



2 次蛇口類の構成部品

元バルブ



1次蛇口



4 受水

2次蛇口及びパイプ類をつなぎ合わせて
柵の外側にセットして 受水を始める。



5 残留塩素測定をして安全な水を使用

- ① 最初はタンク内底部に若干の汚れ水が溜まっているので水抜きする。
- ② 備え付けの透明のコップに採取した水は色、臭い、味を確認して問題ないと判断したならば、残留塩素測定器で濃度を確認してから使用する。

残留塩素テストキット使用手順

- ① 中央の試験管に試薬と水を入れる
- ② 両脇の色判定基準で判断
(0.1~2.0の濃度判定値)

※日本の水道は法令により蛇口で検出される塩素の濃度は
0.1mg/L以上保持するよう定められている。



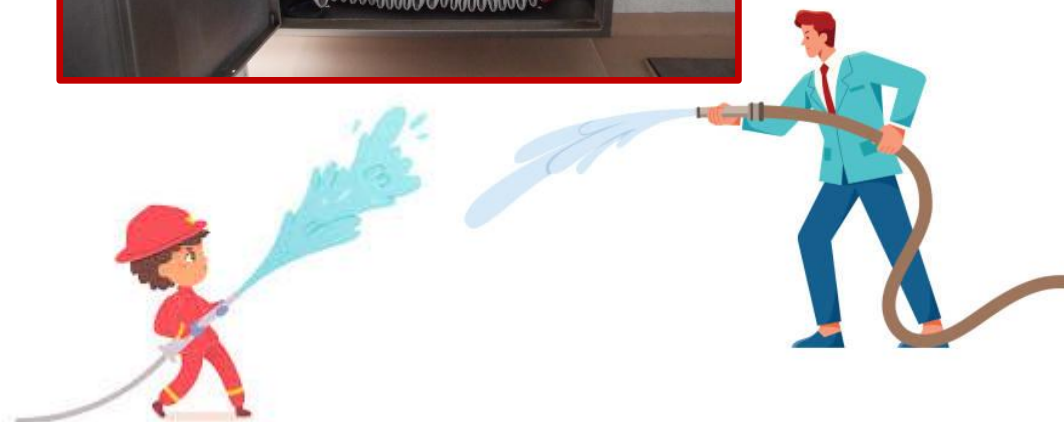
災害時、震災時に必ず必要になるのが生活用水。その供給源として、活用できるのが受水槽の水になるのでいざという時にみんなで活用できるよう日頃から備えておく。

消防用ホース格納

生活安全班

ホース格納箱（各棟4Fと6F）

- ・「ホース（放水用器具）格納箱」という標識が付いて中に消防用ホース・ノズルが設置されている。





災害発生

すぐ避難！
安全な場所へ

逃げる

マンション居住者皆様と連絡可能な場所

集合場所

- ・各棟エントランスホール
- ・集会所
- ・管理事務所・管理事務所前広場

在宅避難

マンションなど耐震性が高い家屋の場合、
災害発生後、自宅で暮らすという選択肢も

▶ 自宅で被災生活を送るための **備えが重要**

- ▶ 見ず知らずの人と共同生活を送ることは負担が大きく、住み慣れた安心できる自宅での生活は有効。
- ▶ 避難所に多くの人が殺到するため、自宅が倒壊していなければ、避難所に入れない可能性がある。



防災備品倉庫

備える

物資班





防災訓練

体験型防災訓練の実施

毎年10月に実施

消防署指導で訓練開始



水消火器操作



心肺蘇生法



煙体験



緊急搬送



自主防災通信

防災訓練実施案内の掲示

令和7年度コート狭山台自主防災会防災活動

防災訓練実施

訓練背景

備えよう災害に

高めよう防災行動力

10月19日(日)

午前10時00分より

「仮想」震度7の
直下型地震に伴い、
当マンションの
インフラに甚大な被害
一帯に
火災発生

訓練場所
マンション内全館棟
(主要場所は1号棟、
2号棟隣の駐車場)

非常ヘル吹鳴
午前10時丁度！
出火 震動同時発生

『OK』マーク
避難完了の目印を
玄関ドアに貼り、
1、2号棟間に設置の
一時避難場所に集合

安否確認
避難状況把握
各戸の
『OK』マーク確認

◇当日のタイムスケジュール表は 後日 お配りします◇

体験訓練

『消防訓練』『心肺蘇生法』『消火器』
『避難タンカ』『AED』『避難体験』『車椅子』

ごみんなで
参加しよう！



みんなで減災いつも備えを！
10/19 防災訓練



いざという時の
応急手当を

防災訓練で
体験しよう！

コート狭山台自主防災会

自分の命は自分で守る！

防



いつもできる備え方、
心の持ち方を！

災

避難

災害はいつどこで起こるか分かりません。災害発生時には避難方法の利新ミスが命に関わる事態を招くことがあります。平時から「どの災害にどう備えるのか」を意識し、避難所、避難場所を把握しておくことが命を守る大切な行動につながります。



みんなで防災 体験型防災訓練
デジカメショット！

実施日：2025/10/19



富士見消防署出動



消防署指導で訓練開始



正しい姿勢で
いざという時に
いざという時に



AEDによる応急救護



ちびっ子出動



煙体験

令和7年度コート狭山台自主防災会 防災活動

防災訓練

みんなで減災、いつも備えを！
日頃から災害の事を考えておけば、
被災を減らす事が出来るはず

コート狭山台自主防災会広報班

非常ベル吹鳴で訓練開始

コート狭山台自主防災会は10月19日（日）に「震度7」の直下型地震と火災発生を想定した防災訓練を実施した。午前10時の各棟「非常ベル」の20秒間吹鳴を合図に一次避難場所（1，2号棟間居住者駐車場）に避難を開始した。安否確認訓練では避難状況の把握に「OK」マグネットを使用し、全206室のうち71%の147室の表示を確認した。

体験型防災訓練実施

居住者の防災に対する意識や関心を高め、災害に強いまち「コート」の実現を目的として、狭山市消防署の協力のもと、体験型の防災訓練を実施した。居住者の多くの方が早朝より来場、訓練は消防署への通報に始まり、水消火器の操作、AEDを使った応急救護など、多くの事を体験した。煙体験ハウスでは火災時における煙の怖さと避難方法などを体験した。



水消火器体験



煙体験ハウス



煙体験訓練

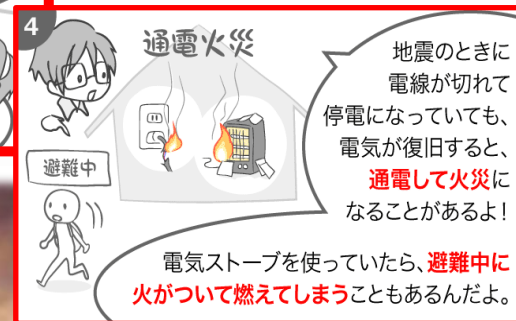
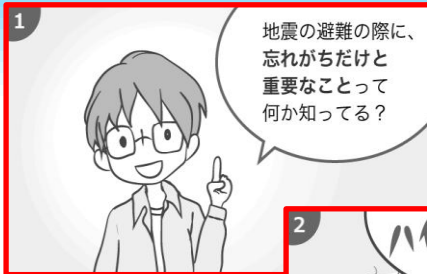


AED

体験訓練参加のみなさんと応急救護の様子

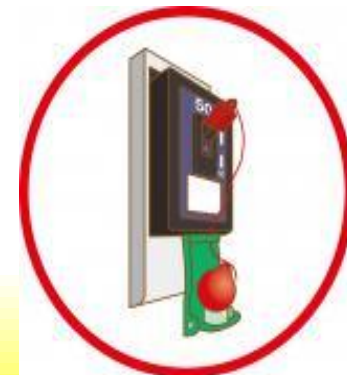


避難の前にブレーカーを落とす！



「通電火災による甚大な被害を防ぐには、
感震ブレーカーアダプターが必要です

地震時、
ブレーカーを
OFFにします。





いつもの備え！



1

最新情報を入手

ラジオ・テレビなどから最新の気象・災害情報を入手し、危険を感じたら避難準備をしてください。



2

呼びかけに注意

市役所、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意してください。



3

避難所を確認

避難する前に、**ガスの元栓**を閉め、**ブレーカー**を落としましょう。万一途中で家族が離ればなれになった時の集合場所も決めておきましょう。



4

2人以上で避難

出来るだけ1人の避難は避けましょう。また、子供からは目を離さないでください。



5

助け合って避難

子供や高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。近所の人の場合も**積極的に協力**しましょう。



6

安全な避難

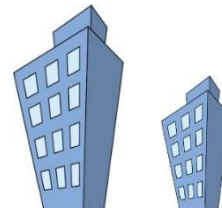
浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。土砂災害の恐れがある場所には近づかないでください。



7

避難は徒歩で

車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くことになります。特別な事情がない限り、**徒歩で避難**してください。



8

避難に遅れたら

万一、避難に遅れ、危険が迫った時には、近所の丈夫な建物に逃げてください。

日頃の備え

災害時の助け合い

◆高齢者・寝たきりの方のために

日頃の備え

日頃から災害時要援護者が地域のどこに何人ぐらいいるのかを把握し、日常的にコミュニケーションを図っておくことが必要。

介助のポイント

緊急の時はおぶって安全な場所まで避難する。

複数の介助者で対応する。

不安を取り除くように声をかける。

災害時には

早めの避難が必要。
近所の高齢者や寝たきりの方の避難に協力する。

◆耳が不自由な方のために

日頃の備え

日常から筆記用具を携帯しておく。
市のモバイルメールに登録しておく。

介助のポイント

話をする時は口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。

手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

災害時には

メモなどで、正確な情報を周囲の人に聞く。

◆目が不自由な方のために

日頃の備え

白杖（ハクジョウ）は必ず手の届くところに置いておく。

災害時には

周りの人に安全な場所までの誘導を依頼する。

介助のポイント

災害時には声をかけ、情報を伝える。

誘導する場合は杖を持った方の手には触れず、ひじの辺りを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩く。

方向や目の前の位置などは、時計の文字盤の位置を想定して伝える。

◆肢体が不自由な方のために

日頃の備え

障害者などの災害時要援護者を把握し、地域の具体的な救援体制を定めておくことが必要です。

災害時には

車椅子は安全な場所に停め、介助者の協力を求める。

介助のポイント

階段では二人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。

介助者が一人の場合、おぶりひもなどを利用し、おぶって避難する。

の
そなえるコート

防災いつもノート

次のお知らせをお待ちください

コート狭山台 自主防災会

広報班